



柏崎 便利屋さぼーと 代表

佐藤 嘉高

SATOU YOSHITAKA

1970年 愛知県出身

2014年「柏崎 便利屋さぼーと」を開業

「柏崎 便利屋さぼーと」を開業して10年目という佐藤嘉高さん。母の実家がある柏崎市へ移住したのは22歳の時。柏崎市や長岡市内にある建築・不動産業界の会社に勤務し、資格を取りながらいろいろな仕事を経験したと話す。

佐藤さんの趣味はバイク。長野県に住むバイク仲間が営んでいる「便利屋」の話を知って面白い仕事だなと興味を持ち、自分もやってみたいと思ったのが始まりだった。佐藤さんは、軽トラック1台とチェーンソー、刈り払い機を購入。「電球1個の交換から頼める!」を売り文句に自分でチラシを作り、1軒1軒ポスティングをしながら宣伝するところから始めたという。

草刈り、庭木の伐採や処分、障子や網戸の張替え、水回りの修繕、不用品の処分や買い取り等。少しずつ仕事が入るようになり、依頼してくれた人が次の方を紹介してくれるなど、口コミで徐々に仕事は増えていった。初めは一人ですべての依頼を受けていた佐藤さんだが、一緒に働いてくれるスタッフや仲間も増え、5年後には合同会社を設立するまでになった。

便利屋とひと口に言っても、その業者ごとに得意な仕事はさまざま。佐藤さんの

ところでは前述の内容に加え、引越し、掃除、建物の解体や撤去、除雪、害虫駆除、ゴミ屋敷の片付け、遺品整理、探偵業など、ありとあらゆる困りごとが佐藤さんの元へ寄せられる。

例えば、ゴミ屋敷の片付けは本人からではなく親戚などから依頼される場合が多い。「周りから見ればゴミでも本人にとっては宝の山で捨てられない理由がある。それを説得しながら片付けに入る時もあるし施設や親戚の方の力を借りることもある」という。ゴミ屋敷の片付けで、この仕事から離れる人も多いが、「家を一軒まるごと片付けて喜ばれるとうれしいし、やり遂げた時の感動は大きい」と笑顔を向ける。

佐藤さんが力を入れているのは空き家の管理。近隣に迷惑がからないように家周りの点検や修繕、草刈り等、毎月点検する年間契約や1回ごとの点検管理等もある。顧客へはLINEなどで画像を送り、報告や確認を行っている。この仕事で大切にしているのは信頼を得ること。ホームページやチラシには顔写真、資格、保険関係、業務の内容等すべて明らかにして、見積りと明瞭な会計を心掛けている。

最近では仏壇や神棚の処分、お墓の改葬などの仕事も増えている。仕事の依頼でお付き合いのあった方に身寄りがなく、最後の看取りからお骨収め、遺品整理までを受けたこともあったという。便利屋業にはさまざまな人間ドラマがあり、毎日いろいろな仕事の依頼で常に新しい発見がある。蜂の駆除など、危険なことも多いが、佐藤さんは「喜んでもらえてお金をいただける仕事が一番」と笑顔を見せた。

お問い合わせ

柏崎 便利屋さぼーと

柏崎市鏡町5-20

TEL 0257-35-5687

営時 8時～18時

休 日曜・祝日

Mail info@sup48.com



HP

